

平成 27 年度さとうきび生産改善共励会受賞団体及び受賞農家の概要

(鹿児島県糖業振興協会)

1 団体の部

(1) 受賞団体

成績	市町村名	団体名	備考
最優秀賞	南種子町	株式会社 南種子精脱葉	鹿児島県知事賞
優秀賞	西之表市	A. S. K3 きび生産組合	鹿児島県糖業振興協会理事長賞

(2) 選定理由

◎最優秀賞《株式会社 南種子精脱葉（南種子町）》

町内の9つのさとうきび生産組合・法人で構成された会社であり、種子島農業公社からの再委託により町内全面積の80%以上の精脱葉（トラッシュ除去）を実施している。生産農家の高齢化等に対応し、平成22年度から精脱葉施設周辺の農地を借り入れて、会社直営によるさとうきび生産を開始し、年々拡大している。

さとうきびほ場は深耕を行うとともに、さとうきび残渣（ハカマ）や製糖工場から提供されるフィルターケーキを混合した有機物の投入を行い土づくりに努めて、生産安定に繋げている。

今後ますます機械収穫が増加するものと予想されるが、精脱葉施設の処理能力が限界に達しているため、補助事業等を活用して施設の拡充を行い、機械化に対応していく計画である。

生産農家の高齢化等で今後とも農地の貸し出しが増加すると見込まれ、それらを集約化し構成員である生産組合・法人の規模拡大を図るとともに、直営農場でも規模拡大を図る計画である。

平成27年度、ハーベスタの導入を予定しており、直営分のさとうきび収穫を行うほか、農業公社を通した収穫作業や管理作業の受託も視野に入れている。

●団体の主要指標（H27）（直営農場分の面積を計上）

構成員数 （総戸数）	団体の耕地面積		1戸当たり 平均耕 地面積	作付面積			耕地利 用率	さとうき び作付面 積割合
	うち借地	さとうき び		その他	合計			
9組合 (43戸)	16.1ha	15.3ha	3.1ha	14.4ha	4.9ha	19.3ha	119%	74.6%

※1戸当たり平均耕地面積：構成員9組合（末端農家43戸）と法人を合わせた平均

●さとうきびの生産状況（直営農場分を計上）

年度	新植夏植面積	収穫面積	合計	生産量	10a当収量	平均甘蔗糖度	共済加入率
24年度	0ha	6.9ha	6.9ha	373t	5,406kg	13.8度	100%
25年度	0ha	8.5ha	8.5ha	623t	7,340kg	12.9度	100%
26年度	0ha	9.4ha	9.4ha	467t	4,968kg	9.7度	100%

●農作業（受託）の状況

農業機械名	作業（受託）面積	農作業の内容
精脱葉施設、ホイールローダ トラクター、ロータリー、プラソイ ブロードキャスト、ハイトプロッシュ 全茎式植付機、2連ロータリー	400ha	脱葉作業 直営農場で利用

○優秀賞《A. S. K3 きび生産組合(西之表市)》

平成 14 年度にハーベスタを導入後、集落内の受託を含めて毎年 20ha 程度の収穫を実施。構成員 1 人当たりの収穫面積も 4ha で、市の平均の 4 倍以上と規模も大きい。

3 名とも有畜農家（繁殖雌牛 3～30 頭）で、良質の完熟たい肥を（2t/10a）さとうきび畑（新植、株出全てのほ場）に還元するとともに、栽培暦に従った適期の肥培管理、株出し管理等を行い、周辺農家よりも高い単収を挙げている。栽培面積の 7 割程度はマルチ被覆を実施しているほか、計画的（2～3 年ごと）に種苗の更新を行っている。

作業受託については、主に市農業振興公社からの再委託により集落内農家の収穫を 8ha 程度実施しているほか、個人所有の機械を利用して管理作業の受託も行っている。作業受託は今後も拡大の方向で取り組む計画。（目標：30ha 以上）

また、地元深川集落は、市内でもさとうきび生産が盛んな集落ではあるが、農家の高齢化が進行しているため、高齢農家所有の農地保全活動（ほ場周辺の草刈りなど）を実施し、集落のさとうきび生産活動の維持に努めている。（地域貢献活動）

今後は、生産組合の構成員の規模拡大や単収向上を目指すとともに、地元深川集落の存続のため、集落全体でのさとうきび生産が維持できるように後継者育成や栽培技術研修会の開催など、さとうきび農家の経営改善に繋がる取組を実施していくこととしている。

●団体の主要指数（H26）

構成員数 (総戸数)	団体の耕地面積		1 戸当たり平均耕地面積	作 付 面 積			耕地利用率	さとうきび作付面積割合
	うち借地			さとうきび	その他	合 計		
3 戸	15.2ha	2.3ha	5.1ha	12.3ha	2.9ha	15.2ha	100%	80.9%

●さとうきびの生産状況

年 度	新植夏植面積	収穫面積	合計	生産量	10a 当収量	平均甘蔗糖度	共済加入率
24 年度	—ha	12.0ha	12.0ha	735t	6,123kg	13.56 度	100%
25 年度	—ha	11.8ha	11.8ha	909t	7,703kg	13.53 度	66.6%
26 年度	—ha	12.3ha	12.3ha	729t	5,927kg	10.19 度	66.6%

●農作業（受託）の状況

農業機械名	作業（受託）面積	農作業の内容
さとうきびハーベスタ	8.0ha	収穫作業

2 農家の部

(1) 受賞農家

成績	市町村名	農家名	備考
最優秀賞	奄美市	榮 完治	鹿児島県知事賞
優秀賞	知名町	池 幸次郎	農畜産業振興機構理事長賞

(2) 選定理由

◎最優秀賞《榮 完治（奄美市）》

高齢農家等の農地を借り入れて規模拡大を図り、奄美市でトップの栽培面積と生産量を上げている。（収穫面積 21.4ha、生産量 960t）収穫を始め、肥培管理から株出管理のほとんどの作業について積極的に機械化を図り、省力化を図っている。繁忙期には臨時で7人を雇用。島内の堆肥供給量が少ない中、収量の低いほ場を優先的に牛ふん主体の堆肥の投入を図り、土づくりを行っている。（全体面積の20%程度、施用量 5t/10a）栽培面積の3分の1程度のほ場には畑かん施設が設置されており、干ばつ時などには積極的に利用して、生産安定に努めている。

現在、農林23号・農林18号が主体であるが、土壌条件など地域性に合った品種の導入を図るとともに、毎年3分の1程度の面積の種苗更新を図り、生産の安定に繋げていく計画である。

農業後継者がおり、さらに規模拡大を図りながら、将来的には後継者へ経営移譲を行う計画である。（将来の目標：30ha）周辺農家の農業後継者や新規就農希望者を雇用し、さとうきび栽培についての技術習得をさせ、奄美市全体のさとうきび生産の維持に繋げていく計画である。

●農家の主要指標(H26)

認定農業者の有無	耕地面積	作付面積			耕地利用率	さとうきび作付面積割合	
		うち借地	さとうきび	その他			合計
有	2,790a	2,465a	2,790a	a	2,790a	100%	100%

●さとうきびの生産状況

年度	新植夏植面積	収穫面積	合計	生産量	10a当収量	平均甘蔗糖度	共済加入率
24年度	- ha	17.5ha	17.5ha	511t	2,923kg	14.5度	0%
25年度	- ha	18.3ha	18.3ha	940t	5,150kg	13.8度	0%
26年度	6.5ha	21.4ha	27.9ha	960t	4,485kg	13.1度	100%

○優秀賞《池 幸次郎（知名町）》

ここ数年自然災害に見舞われたが、借入地を増加し、面積の拡大を図っている。（収穫面積 6.6ha, 生産量 374t）ペレット堆肥の投入（新植, 株出全てのほ場に）や緑肥作物の鋤き込みにより土づくりを行うとともに、適期の病虫害防除や適切な除草作業のほか、収穫後は速やかに株揃え等の管理作業を行い、生産の安定に努めている。（単収向上の目標～夏植 10t/10a, 春植 6t/10a, 株出 7t/10a）

畑かんマイスターを拝命しており、畑かんの効果をよく理解し、積極的に畑かんを利用して安定生産に努めている。全てのほ場に畑かん施設(定置配管施設)がある。

さとうきび生産組合の組合長として収穫作業の受託も行っているが、生産農家の高齢化や担い手不足への対応として、平成27年度リース事業の活用により管理作業機の導入を図り、管理作業の受託も計画している。（目標：自作地を含めて 20ha）また、地区さとうきび部会屋舎支部長として、地域生産組織の牽引役となっている。

●農家の主要指標

認定農業 者の有無	耕 地 面 積		作 付 面 積			耕地利 用率	さとうき び作付面 積割合
		うち借地	さとうきび	その他	合 計		
有	930a	270a	770a	38a	808a	82.7%	95.2%

●さとうきびの生産状況

年 度	新植夏植面積	収穫面積	合計	生産量	10a 当収量	平均甘蔗糖度	共済加入率
24 年度	1.3ha	4.1ha	5.4ha	180t	4,355kg	13.3 度	0%
25 年度	2.0ha	4.5ha	6.5ha	290t	6,403kg	14.0 度	0%
26 年度	1.1ha	6.6ha	7.7ha	374t	5,627kg	13.9 度	0%